

令和4年 1月26日

保護者 様

みやき町立三根東小学校
校長 中村 美枝子

寒冷の候、日頃より本校の教育活動に対するご理解とご協力ありがとうございます。
12月に実施しました第2回目の「学校評価」の集計結果について、下記のようにお知らせいたします。集計にあたり、「4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない」のご回答で、「4」と「3」の合計を[A]評価としています。

全般的に、保護者・児童からのアンケート結果は大変良好でした。この結果を、これからの学校経営に反映させ、今後も保護者の方々に信頼され、子供たちが「元気いっぱい笑顔あふれる」学校づくりに役立てていきたいと思っております。子供のよりよい成長のため、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 保護者アンケートで「A評価」が95%を超えていた項目（実施状況に関わる内容）

- ・互いのよさを認め合う活動などは、思いやりの心の育成につながっている(100%)
- ・学校の様子を伝えている(98%)
- ・元気に登校している(97%)
- ・安全のための指導や取組を計画的に行っている(97%)
- ・分かりやすい授業を行っている(97%)
- ・毎日宿題をしている(95%)
- ・体験活動は心の育成につながっている。(99%)
- ・お子さんの良さや頑張りを伝えている(97%)
- ・学校での学習習慣は定着している(96%)
- ・授業参観等に進んで参加している(95%)

2 保護者アンケートで課題と考えられる項目

- ・電子機器を使うときのルールや時間を決めた使用(A:73%)
- ・読書に親しむ(A:78%)

3 児童アンケートで「A評価」が95%を超えていた項目

- ・命を大切にする(100%)
- ・学校生活は楽しい(96%)
- ・友達と力を合わせた生活や勉強(96%)
- ・授業がよく分かる(95%)
- ・ねばり強く取り組む(95%)
- ・コロナに気を付けて過ごしている(99%)
- ・困っている友だちへの手助け(96%)
- ・正しい身なり(96%)
- ・心がぼかぼかになる言葉づかい(95%)
- ・体験的な学習は考えて取り組む(95%)

4 児童アンケートで、課題と考えられる項目

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」への取組(A:90% 1回目のA:86%)

<本年度の第1回目のアンケートから、良くなった項目>

〔保護者アンケート〕

- ① 決められた時間の家庭学習(80%→84%)
- ② お子さんの良さや頑張りを伝えている(94%→97%)
- ③ 「早寝・早起き・朝ごはん」への取組(78%→81%)
- ④ 心が温かくなる言葉づかい(86%→89%)
- ⑤ 読書に親しむ(75%→78%)

〔児童アンケート〕

- ① 自分には良いところがある(82%→92%)
- ② 「早寝・早起き・朝ごはん」への取組(86→90%)
- ③ 学校生活は楽しい(93%→96%)
- ④ 体験的な学習は考えて取り組む(92%→95%)

※アンケート集計結果は、学校HPに掲載しています。(裏面もあります)

第2回目のアンケートで課題となった項目については、下記のように学校と家庭とで連携しながら、効果的な対策に取り組んでいきたいと思ひます。

＜電子機器を使うときのルールや時間の設定に向けて＞

→ ネット利用については、家庭での継続した取組が大切です。電子機器を使うときのルールや時間、SNS やネットゲームの利用の仕方について、学校でも指導しています。ぜひ、「わが家のルール」を再度確認して利用させていただきよう、ご理解とご協力をお願いします。

(別添県からの注意喚起プリント参照)

＜全体考察と今後に向けて＞

- 保護者アンケートから、お子さんの「良さ」や「頑張り」を伝えていただいているご家庭が増えてきていることが分かります。学校に寄せられる「光るところみつけカード」にも、保護者の方からの温かい言葉が綴られていました。
「早寝・早起き・朝ごはん」への取組は、保護者、児童アンケートともに結果が向上しています。また、決められた時間の家庭学習についても、ご家庭のご協力により、向上しています。このような基本的な生活リズムの中で、家庭学習にも取り組むことで、確実な学力の向上が図られています。引き続き、ご家庭でのご協力をお願いします。
- 児童アンケートから、「自分にはよいところがある」と考える児童の割合が確実に上昇しています。本校で全校あげて取り組んできた「子供のよさ・がんばり」を見つけ称賛する開発的生徒指導への取組が実を結んできていることを実感できました。体験的な学習では、子供たちが自分で考え進んで学ぶ姿として現れてきています。
また、全校みんなで「元気いっぱい笑顔あふれる東小」を目指してきた結果として「学校生活が楽しい」と感じるができる子供が増えていることは、大きな成果であると考えています。
- 今年もコロナ禍で、地域の方々と関わる機会が少なく、交流を深めることに課題が残りました。これからもコロナ感染症の状況を見極めながら、家庭、地域と連携を深めながら「チーム東小」として、全職員が一丸となって子供たちの教育に取り組んでいきたいと思ひます。
「教育の道は、家庭の教えで芽が出て、学校の教えで花が開き、世間の教えで実がなる。」(先人の言葉)を実現すべく、家庭・学校・地域で連携しながら子供たちのよりよい成長を目指していきたいと思ひます。これからも、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

令和3年度 第2回学校改善アンケート 「お気づき欄」の主なご意見

- ◇ お気づき欄へのご意見やご要望を書きいただき、ありがとうございました。寄せられた主なご意見やご要望に対し、現状を踏まえた上で回答を記しています。
- ◇ 今後もお尋ねになりたいことやご不明な点は、遠慮なくご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

● 防寒着の件ですが、ジャージなどの着用は体調をくずさないように校内で気軽に着用できるようになれば、子供たちそれぞれに体感温度も違うのではないかと思います。風邪をひく前だと思います。

→ 防寒着について、体調がすぐれない場合は、ジャージ着用を認めています。また、教室には、暖房を入れ防寒対策を行っています。寒さに負けない体づくりの側面から、部屋の中では、防寒着を着て過ごすのではなく制服の下に、トレーナーなどを着用することなどの寒さ対策をお願いしています。ご理解・ご協力をお願いします。

● 学校で緊急時の下校（雷、大雨など）でお迎えのときですが、地区代議員の方が地区の登下校サポーターさんに連絡をするのは難しいのではないかと思います。以前、雨の日のお迎えでサポーターさんが立ってありました。学校での急な連絡は、学校から直接サポーターさんに連絡されたがよいのではないかと思います。事前に分かっている連絡なら、地区代議員さんをお願いされても大丈夫だと思います。

→ 緊急時の登下校サポーターさん方への連絡は、地区代議員さんから連絡をしていただいています。本校区のサポーターさんは、101名と多く、マチコミメールへの登録が難しい方もいらっしゃるのが現状のため、地区代議員の方をお願いしています。今後、PTAの理事会でも取り上げ、よりよい方法を検討させていただきます。

● 修学旅行や宿泊訓練など子供たちの思い出として記憶に残りそうなことは、状況を見極めできるだけ実施してほしいと思います。5年生の修学旅行先の佐賀県庁付近はもう少し遠くへ連れて行ってほしいのではないかと思います。

→ コロナ禍で宿泊訓練などの行事が制限されているのは、新型コロナウイルス感染拡大防止のためです。修学旅行については、コロナ対策を徹底し子供の学びにつながる内容を検討してきました。5年生については、福岡市から佐賀市に目的地を変更しています。距離的には近いですが、「大隈重信記念館」「佐賀城本丸歴史館」や「佐賀県庁」「バルーンミュージアム」など、佐賀の宝を再発見する学習をフィールドワークを取り入れながら実施しています。ご理解ください。

● 朝のラジオ体操はいかがでしょうか。より一層授業に集中できると思います。

→ 朝の時間については、心タイム・なかよしタイム、読書などに全校統一で取り組んでいます。「ラジオ体操」については、体育の準備運動として取り入れています。

● コロナ禍で難しいとは思いますが、家族以外の大人の話が聴ける、話ができるような取り組みがあったらいいと思います。

→ 今年度も、コロナ感染症対策を取りながら学年の実態に応じた地域人材や専門的な分野の講師などから学ぶ時間を取り入れてきました。今後も、コロナの感染状況を見極めながら、地域の人と触れ合い、話を聴ける場の確保を検討していきます。

